

令和6年度 第1回志布志市女性活躍推進会議 会議内容

1 開催日

令和6年8月23日（金曜日）

2 場所

志布志市役所 志布志役所本庁舎4階庁議室

3 協議事項

- (1) 会長及び副会長の選任
- (2) 志布志市女性活躍推進事業の進捗状況について
- (3) 女性版骨太の方針2024の概要について
- (4) その他

4 会議の概要

本市における女性活躍を進める上で、事業報告を行うとともに、現状の課題について意見交換を行った。主な意見交換の内容は下記のとおり。

(1) 女性活躍推進事業について

- ・高校生と事業所との交流会について、普段話をする事のない者同士が交流することで、事業所にとっては今の高校生の思いを知り、高校生にとっては市内には魅力的な事業所があることを知ってもらえる良い機会となっている。
- ・高校生と事業所との交流会については、高校生の気付きも大事だが、事業所側つまりは大人側の気付きが大いにあるのではないか。女性活躍推進の面だけではなく、職場環境の改善に向けた努力をしている事業所が多く見受けられた。
- ・この交流会を始めて3年目だが、最初に交流会に参加した高校生が3年生となり、この事業の効果がそろそろ見え始める頃と思う。
- ・事業所のワークショップについては、ワークショップをつうじて生まれる新たな関係性から発せられたアイデアや今後の課題を共有していくことに非常に意味がある。

(2) 育児休業制度について

- ・今は男性も育児に参加することが当たり前という風潮になってきている。女性の社会進出を増やすのであれば、男性女性関係なく互いに協力し、支え合っていくという意識改革が必要である。
- ・国の制度も仕事と家庭が両立できるよう法律の改正をしてきている。また、育児休

業や育児短時間勤務期間中の業務体制整備のため、業務を代替する周囲の労働者への手当支給等の両立支援等助成金というのものもある。

(3) 志布志市ダイバーシティ推進企業認定制度について

- ・現状はこの制度の確立を目指し、制度設計の検討段階。今後毎年1社程度認定していければと思っている。
- ・業種内容によってはダイバーシティを推進出来ない事情のある事業所もあると思う。そのような事業所があることを踏まえた上で、市内事業所にダイバーシティが浸透していくような制度を作る必要がある。
- ・ダイバーシティ推進企業に認定してもらおうと思っても、日常の仕事に追われ、申請がままならない。認定制度が開始するにあたっては、申請のフォーマット等、簡単かつ円滑にできるような仕組みになるとありがたい。
- ・性別役割分業意識が自分にもあることに気付く場面がある。固まった考え方を変えていくことは大変なことであるが、年に数回でも気付く場面があれば少しずつでも意識が変わっていくのではないかと思う。
- ・認定項目について、個人事業主のような小さな事業所も認定を受けられるように広く制度を導入できるような項目内容にして欲しい。

(4) 志布志市内における産婦人科及び小児科について

- ・小児科が志布志市内から無くなったことで、子育て世帯の母親から不安の声が上がっている。小児科や産婦人科が志布志市内に無いことにより仕事が出来ない母親も多いのではないか。
- ・病児保育をする病院があると子育て中の人は働きやすいのではないか。医師や看護師が近くにいると預ける方も安心だと思う。